



よりよい海外与信管理体制構築に向けて

海外取引に関する安全度チェック

海外与信管理状況の数値化サービス

エクスペリアンジャパン株式会社
海外調査部

免責事項: 本資料は受取人の事業活動におけるいかなる結果を保証するものではありません
ので、予めご了承ください。



ご案内

海外取引における安全度・リスク度の測定が可能！

- 安全度とは、今後1年間において倒産が発生しない確率(%)
- リスク度とは、仮に倒産が発生した場合の損失シュミレーション

海外与信管理状況を数値化することで、評価・対策・改善などが容易になります！

免責事項:本資料は受取人の事業活動におけるいかなる結果を保証するものではありませんので、予めご了承願います。

海外与信管理状況の数値評価

■取引可否・与信限度額等の個社管理を行って、未然防止を目指しているが……

現状の商売がどの程度安全なのだろうか…… もう少しはっきりと把握したい……

課題

複数の国・取引先に対する安全度合い(管理状況)はどの程度なんだろう？

コンセプト

DPスコア x バリュアットリスク = 安全度測定

- 海外与信管理状況の数値化が可能
- 各種シナリオ作成対応（取引縮小・拡大、条件変更、保全価値等）

現状把握及び将来戦略に対するリスク量を数値化！
→ 対策検討・戦略構築の基礎情報！

事例：安全度チェック

データ x DPスコア x バリュアットリスク

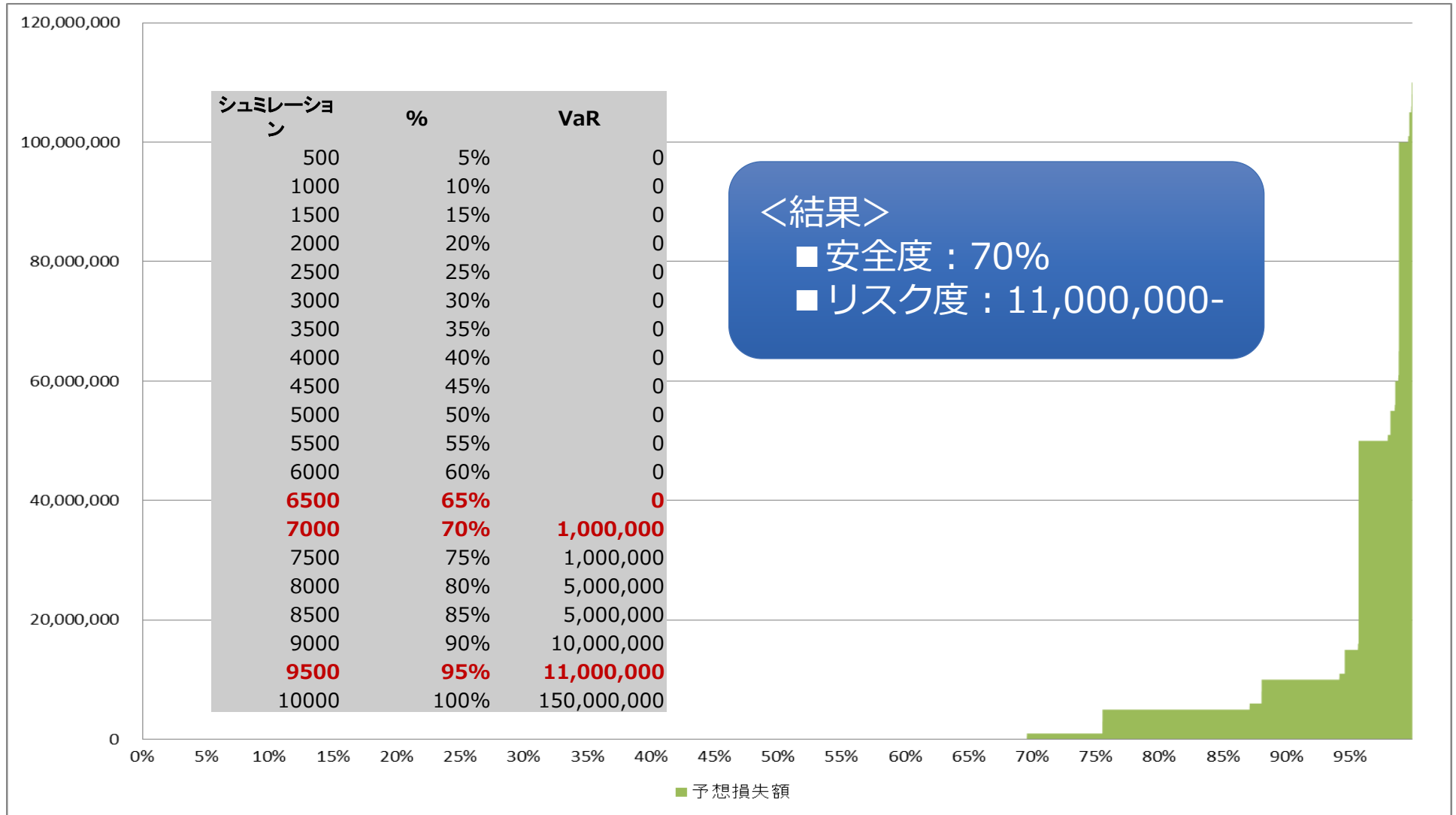
例

海外取引先	売上債権	DPスコア
A	100,000,000	DP5
B	50,000,000	DP6
C	10,000,000	DP7
D	5,000,000	DP8
E	1,000,000	DP7
合計:5社	166,000,000	

1万回のシュミレーションを行い、安全度をチェックいたします！

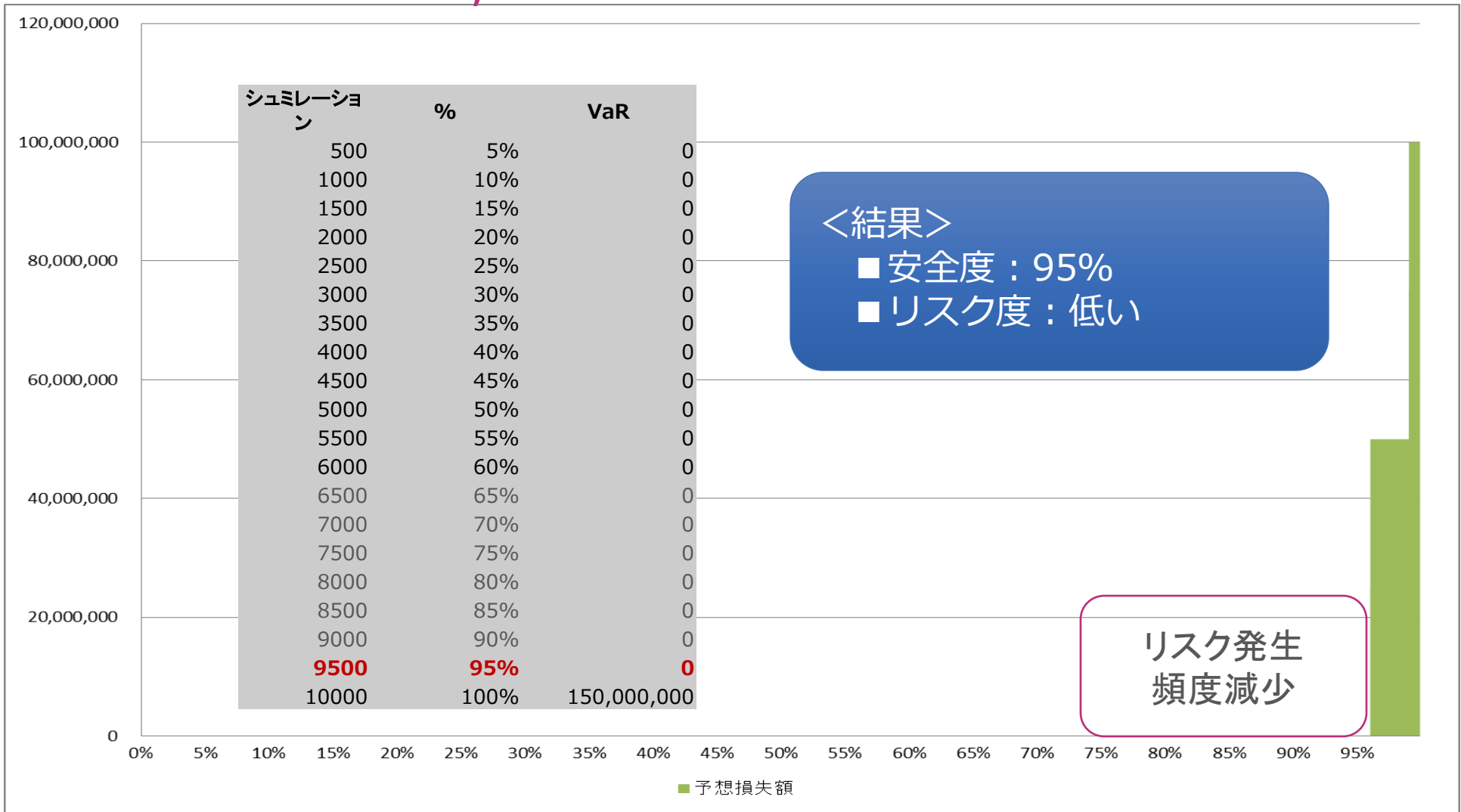
事例：安全度に関する分析グラフ(1)

現状把握



事例：安全度に関する分析グラフ(2)

DP7,8と取引しないシナリオ



安全度チェックの活用方法

- 定期的な確認(リスク管理)が可能(毎月、四半期など)
- 戦略構築の一助(取引金額、支払条件の各種想定が可能)
- 説明資料として
- その他(保全コストの価値判断、BCP & BCM対策など)

海外与信管理状況を数値化することで、評価・対策・改善などが容易になります！

必要なデータ

- DPスコア
- 売上債権額もしくは予想債権額など
- シュミレーションシナリオ
- その他(必要に応じて)

DPスコアを活用

- 世界各国の企業に対する統一評価(倒産確率) = 個別企業のリスクを数値化
- 海外与信管理全般に対する数値化への応用

バリュー・アット・リスクを応用

- 世界各国の金融機関が保有資産の予想最大損失額算出に活用
- 海外与信管理に対する数値評価への応用

バリュー・アット・リスク (Value at Risk) とは？

VaRは、1994年米国の投資銀行JPモルガンによって開発されたモデルです。当時、JPモルガンのCEO、D.Weatherstoneは金融派生商品（先物・オプション・スワップ等）の取引急増による金融リスクの増加に直面しており、これを回避するため、リスクをタイムリーかつ分かりやすく表現できるツール整備を行う必要に迫られていたのです。そのために開発したモデルがVaRです。JPモルガンはVaRとVaRを運用するためのプログラムを開発するだけでなく、その手法について公開も行いました。

これが米国の投資銀行や国際決済銀行（Bank of International Settlement）によるVaRの採用を後押し、その後の普及に貢献することとなりました。

日本においても、金融リスク管理における市場リスク計測の手法として、金融商品やポートフォリオ*1の現在価値*2の変動リスクの把握のため、多くの投資家、証券会社、金融機関等で広く活用されています。

*1 ポートフォリオ（Portfolio）とは、金融商品の組み合わせのことで、特に具体的な運用商品の詳細な組み合わせを指す。

*2 現在価値とは、発生を時期を異にする貨幣価値を比較可能にするために、将来の価値を一定の割引率（discount rate）を使って現在時点まで割り戻した価値である。

（出典：ニュートン・コンサルティング株式会社）



 experian™